



東地中海地域ニュース

ヨルダン：米国との原子力エネルギー協力に関する覚書の締結（9月17日付現地各紙）

1. 16日、ウィーンで開催されたグローバル原子力エネルギー・パートナーシップ（注：GNEP（Global Nuclear Energy Partnership）2006年にブッシュ米大統領により提唱された国際的イニシアティブ）閣僚級会合に合わせ、米国のサミュエル・ボドバン・エネルギー省次官とヨルダンのハーリド・トゥーカーン教育相が原子力エネルギーの協力に関する覚書に署名した。
2. 同覚書に基づき、両国は今後、原子炉、燃料サービスのアレンジメント、人材トレーニング、原子力安全、エネルギー技術等に必要となるものを共同開発していく。
3. 同覚書の締結は、GNEPの活動に沿ったものであり、米国は増加する電力需要に対応するため、クリーン、安全且つ利用し易い原子力エネルギーの一層の利用を可能とするため国際的なコンセンサス作りに他国と共に活動するものである。また、GNEPは、不拡散を促進しながら、同時に安全で環境に影響を与えない方法でエネルギーの安全保障強化に繋がる原子力燃料サイクル技術の実証を目指している。